



操作

- [Cisco BMC とサーバー工場設定をリセット \(1 ページ\)](#)
- [KVM コンソールの起動 \(2 ページ\)](#)
- [BMC のファームウェア \(3 ページ\)](#)
- [OEM ファームウェアのアップデート \(4 ページ\)](#)
- [BMC をリブート \(4 ページ\)](#)
- [Serial over LAN \(SOL\) の表示 \(5 ページ\)](#)
- [サーバーの電源操作 \(6 ページ\)](#)
- [仮想メディア イメージの追加 \(7 ページ\)](#)

Cisco BMC とサーバー工場設定をリセット

Cisco BMC システムには、BMC を元の製造元の設定に復元する工場出荷時設定へのリセットインターフェイスが含まれています。このインターフェイスは広く定義されており、さまざまな Cisco BMC サービス間でさまざまな実装が可能です。この柔軟性により、必要に応じて個々のサービスを工場出荷時のデフォルトにリセットできます。

サーバーの電源がオフの場合、次のメッセージが表示されることがあります。

BMC とサーバーの両方の設定をリセットしますか？

始める前に

BMC をリセットする前に、次の点を考慮してください。

- すべての手動設定が削除されます。
- バックアップが存在する場合は、パーティション構成とプラットフォームキーストアを回復できます。
- すべての BMC ログが削除されます。
- すべてのネットワークインターフェイスで現在アクティブなセッションが切断されます。
- BMC のデフォルトのアカウントとパスワードの設定が復元されます。

手順

ステップ1 [ナビゲーション ペイン (Navigation Pane)] から、[操作 (Operations)] > [工場出荷時の状態にリセット (Factory reset)] を選択します。

ステップ2 [システムをシャットダウンせずに続行 (Continue without shutdown the system)] チェックボックスをクリックします。

ステップ3 [BMCとサーバーの設定のリセット (Reset BMC and server settings)] をクリックします。

ホストが ON ステートの場合、次の警告メッセージが表示されます：

```
Reset BMC and server settings
```

```
Do you want to reset both the BMC and server settings?
```

```
All manual settings will be deleted.
```

```
Partition configurations and the platform keystore may be recovered if backups exist.
```

```
All BMC logs will be removed.
```

```
Currently active sessions on all network interfaces will be disconnected.
```

```
The BMC default account and password settings will be restored.
```

```
Resetting without shutting down the system might cause an unrecoverable error.
```

```
Continue without shutting down the system
```

ステップ4 [はい (Yes)] をクリックして続行します。

KVM コンソールの起動

手順

ステップ1 [ナビゲーション ペイン (Navigation Pane)] から、[操作 (Operations)] > [KVM] を選択します。

ステップ2 [Launch KVM] をクリックします。

[KVM] ウィンドウが、ブラウザの設定に応じて新しいタブまたはウィンドウとして開きます。

BMC のファームウェア

BMC ファームウェアの表示

手順

ステップ 1 [ナビゲーション ペイン (Navigation Pane)] から、[操作 (Operations)] > [Firmware (ファームウェア)] を選択します。

ステップ 2 [BMC とサーバー (BMC and server)] セクションの [実行中のイメージ (Running image)] で、[バージョン (Version)] を確認できます。

BMC ファームウェア バージョンは XYZ として表されます。X はメジャーバージョン、Y はマイナーバージョン、Z は BMC Aux ファームウェア バージョンを表します。たとえば、BMC ファームウェアのバージョン番号は 1.1.4 です。

BMC ファームウェアの更新



(注) 更新プロセス中は、HTTPS サービスが一時的に使用できなくなります。この期間中は、WebUI、Redfish、またはその他の関連サービスにアクセスできません。サービスが完全に復元されるまで待ってから、技術情報にアクセスしてください。

始める前に

この手順を始める前にクライアントにファームウェアファイルが利用可能だということを確認します。

手順

ステップ 1 [ナビゲーション ペイン (Navigation Pane)] から、[操作 (Operations)] > [Firmware (ファームウェア)] を選択します。

ステップ 2 [ファイルを追加 (Add File)] をクリックしてファームウェア ファイルの場所を探すために参照します。ファームウェア ファイルを選択します。

ステップ 3 ファームウェアアップデートを開始するために [アップデートを開始 (Start Update)] をクリックします。

OEM ファームウェアのアップデート

始める前に

この手順を始める前にクライアントにファームウェアファイルが利用可能だということを確認します。



- (注) アップグレードするファームウェアのタイプに応じて、OEM ファームウェアのアップグレードでは、AC 電源の再投入またはホストの電源再投入が必要になる場合があります。
- **BIOS ファームウェア**：アクティブ化にはホストの電源の再投入が必要です。アップグレード後にこの手順を実行できることを確認します。
 - **FPGA ファームウェア**：アクティベーションにはサーバーの AC 電源の再投入が必要です。アップグレード後にこのアクションを完了する準備をしてください。

手順

ステップ 1 [ナビゲーション ペイン (Navigation Pane)] から、[操作 (Operations)] > [OEM Firmware (OEM ファームウェア)] を選択します。

ステップ 2 ドロップダウン リストからアップデートする特定のデバイスを選択します。

ステップ 3 [ファイルを追加 (Add File)] をクリックしてファームウェア ファイルの場所を探すために参照します。
ファームウェア ファイルを選択します。

ステップ 4 [更新の開始 (Start Update)] をクリックして、ファームウェアの更新を開始します。

BMC をリブート



- (注) BMC をリブートすると、Web ブラウザと BMC との接続が数分間失われます。BMC がオンラインに戻ったら、再度ログインする必要があります。

手順

-
- ステップ 1** [ナビゲーション ペイン (Navigation Pane)] から、[操作 (Operations)] > [リブート BMC (Reboot BMC)] を選択します。
- ステップ 2** [BMC をリブート (Reboot BMC)] をクリックします。
- [確認 (Confirm)] をリブートに続きます。
-

Serial over LAN (SOL) の表示

Serial over LAN (SOL)、または BMC シリアル トラフィック リダイレクションは、シリアル コントローラ トラフィックをベースボードから IPMI セッションにリダイレクトします。この プロトコルは、BMC との接続を介して、オペレーティング システム (OS) 内およびプレ OS フェーズ中に非同期通信を可能にします。SOL は、IPMI LAN セッションを介して、OS コマンドライン インターフェイス、シリアル リダイレクト BIOS インターフェイス、その他のシリアル テキスト ベースのアプリケーションなどのシリアル テキスト ベースのインターフェイスを操作する場合に特に役立ちます。

SOL は、IPMI プラットフォーム管理への LAN ベースのアクセスとシリアル テキスト リダイレクションを統合 インターフェイスで統合し、単一のリモート コンソール アプリケーションで両方の機能をサポートできるようにします。SOL の許可とアクセス制御は、IPMI 管理に使用されるのと同じユーザー構成 インターフェイスを介して管理されます。この統合により、さまざまなプラットフォーム間で連携して動作する構成ソフトウェア、リモート管理アプリケーション、および構成ユーティリティの開発が合理化されます。

手順

-
- ステップ 1** [ナビゲーション ペイン (Navigation Pane)] から、[操作 (Operations)] > [SOL コンソール (SOL console)] を選択します。
- ステップ 2** 画面に表示されるインターフェイスを使用して、サーバのシリアル ポート 出力を直接接続されているかのように モニタ および 管理 します。
-

サーバーの電源操作

サーバーの電源状態の表示

手順

ステップ1 [ナビゲーション ペイン (Navigation Pane)] から、[操作 (Operations)] > [サーバー電源オペレーション (Server power operations)] を選択します。

ステップ2 [現在のステータス (Current status)] で、次のプロパティを表示できます。

名前	説明
Server status	サーバーの電源が現在オンかオフかを示します。
最後の電源操作	サーバーの最新の電源再投入またはシャットダウンイベントの日時を記録します。

サーバの再起動

始める前に

[再起動 (Reboot)] オプションは、サーバーの電源が入っている場合にのみ使用できます。サーバーの電源がオフの場合、[再起動 (Reboot)] オプションは表示されず、代わりに [電源オン (Power On)] と表示されます。

手順

ステップ1 [ナビゲーション ペイン (Navigation Pane)] から、[操作 (Operations)] > [サーバー電源オペレーション (Server power operations)] を選択します。

ステップ2 [サーバーの再起動 (Reboot server)] では、1つのオプションのみが使用可能で、デフォルトではが選択されています：

- [整頓された (Orderly)] : オペレーティングシステムがシャットダウンした後、サーバーがリブートします

ステップ3 [再起動 (Reboot)] をクリックして、再起動プロセスを開始します。

サーバーのシャットダウン

始める前に

[シャットダウン (Shut down)] オプションは、サーバーの電源が入っている場合にのみ使用できます。サーバーの電源がオフの場合、[シャットダウン (Shut down)] オプションは表示されず、代わりに [電源オン (Power On)] と表示されます。

手順

ステップ 1 [ナビゲーション ペイン (Navigation Pane)] から、[操作 (Operations)] > [サーバー電源オペレーション (Server power operations)] を選択します。

ステップ 2 シャットダウン オプションから、次のいずれかを選択します。

- [Orderly] : オペレーティング システムがシャットダウンし、サーバーが再起動します。
- [即時 (Immediate)] : オペレーティング システムをシャットダウンせずにサーバーをシャットダウンします。データが破損する可能性があります

ステップ 3 [シャットダウン (Shut down)] をクリックして、シャットダウン プロセスを開始します。

ブート ソースのオーバーライド

手順

ステップ 1 [ナビゲーション ペイン (Navigation Pane)] から、[操作 (Operations)] > [サーバー電源オペレーション (Server power operations)] を選択します。

ステップ 2 [Boot Source Override] ドロップダウン リストから、目的のブート ソースを選択します。

ステップ 3 デフォルトのブート順序を変更せずに、次のシステム起動時にブート デバイスを一時的に変更するには、[ワンタイム ブートを有効にする (Enable one time boot)] を選択します。

ステップ 4 [保存 (Save)] をクリックして、変更内容を保存します。

仮想メディア イメージの追加

仮想メディアを使用すると、BMC を介してサーバー ホストに ISO/IMG ドライブ イメージをリモートでマウントできます。リモート ドライブは、USB ストレージ デバイスとしてホストに表示され、コンテナの制限と書き込み保護スイッチを考慮して、読み取り専用モードまたは

読み取り/書き込みモードで動作します。この機能を使用して、ベアメタル システムに OS をインストールできます。

始める前に

この手順を開始する前に、クライアントでイメージファイルが使用可能であることを確認します。



(注) ローカル イメージのみがサポートされます。リモート ファイル共有からのイメージのマッピングまたはクライアント外部の仮想メディア (vMedia) のマッピングはサポートされていません。適切に機能させるために、すべてのイメージがローカルに保存されていることを確認します。

手順

ステップ 1 [ナビゲーション ペイン (Navigation Pane)] から、[操作 (Operations)] > [仮想メディア (Virtual media)] を選択します。

ステップ 2 [ファイルの追加 (Add file)] をクリックし、追加するイメージを参照します。
イメージ ファイルを選択します。

ステップ 3 [スタート (Start)] をクリックします。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。